

オーディオ実験室収載

ライブストリーミングを楽しむ(48)

—菊池洋子ピアノリサイタル—

1. 始めに

菊池洋子ピアノリサイタル J.S.バッハのゴルトベルク変奏曲の配信を視聴しました。

<https://www.phileweb.com/news/d-av/202207/25/55993.html>

<https://econtent.jp/store/luruhall/product/NBLYTJL4RFBXBPWZWZYEFK3Q7A>

2. ライブの試聴方法と使用機器環境

プログラムと配信環境は次のとおりです。

名称：菊池洋子 ピアノリサイタル

J.S.バッハ ゴルトベルク変奏曲

日時：2022年7月31日（日）開場 13:30 開演 14:00

会場：LURU HALL

出演：菊池洋子（ピアノ）

【会場チケット】：5000円（1ソフトドリンク付・限定33席）

【配信チケット】：3000円（1週間アーカイブ付・KORG Live Extreme によるハイレゾ×バイノーラル録音）

問合：LURU HALL（073-457-1022）

配信品質：[音声]96kHz24bit or 48kHz24bit (lossless) / [映像]1920x1080p(FullHD)

配信システム：「Live Extreme」

<https://live-extreme.net/about.html>

配信プラットフォーム：「eContent」

<https://econtent.jp/>

受信はいつもの音楽用PCで、Sonica DAC経由で再生します。

<https://live-extreme.net/usage-win-other.html>

3. ライブの試聴の試聴結果

アカウント取得済の配信プラットフォーム「eContent」のサイトに入り、マイページから、申し込みして入金すると有効になるシリアルキーを使うと、配信システム「Live Extreme」での受信が可能になります。Sonica DACの表示は48kHzになっています。

なお、「Live Extreme」の音が、最近のダンパーフレークや仮想アースの導入でどのように変化しているかに興味があります。

ダンパーフレークの適用箇所：

ルーターの LAN 出力端子

ハブから PC への LAN 出力端子

PC と Sonica DAC の間に介在する USB アクライザー

Sonica DAC と DA-3000 の間に介在するバランスアナログアクライザー

仮想アース Crystal E の適用箇所：

Brooklyn DAC+



菊池洋子のゴルトベルク変奏曲は今年の東京春の音楽祭でも視聴しています。

<http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/?p=21547>

[http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-](http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/04/5dc80981e43cf883ee03e3444a0a542d.pdf)

[content/uploads/2021/04/5dc80981e43cf883ee03e3444a0a542d.pdf](http://audiokenkyu.sakura.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/04/5dc80981e43cf883ee03e3444a0a542d.pdf)

なお、今回の同様の「Live Extreme」による生中継の情報は下記にもあります。

<https://www.phileweb.com/review/article/202207/29/4792.html>

これらの情報にあるように「Live Extreme」の高音質化の手法に加えて、上記のダン

パーフレークと仮想アース Crystal E の追加の効果が加わり、音質は格段に向上しており、スタンウェイの打鍵の強弱、抑揚、緩急などがリアルに伝わってきました。あるチェンバロの演奏家に言わせれば、ゴルトベルク変奏曲は集中力を要求される曲のようなので、東京春の音楽祭でもそうでしたが、今回でも休憩なしの1時間20分の間、非常に集中して演奏している模様が伺えます。

4. まとめ

菊池洋子ピアノリサイタル J.S.バッハのゴルトベルク変奏曲の配信の視聴が可能でした。高音質配信プラットフォームに加えて、ダンパーフレークと仮想アース Crystal E の追加の効果が確認できました。

以上